

会議名称	平成22年度第1回平塚市スポーツ振興審議会
日時	平成22年(2010年)6月4日(金) 15時から16時20分まで
会場	平塚球場 会議室
委員数	15名
出席者 委員	11名 飯塚紀一、陶山正明、伊藤栄治、松崎勇、高梨孝治、藤田早苗、仲手川勉、江藤博一、窪田英彦、大崎和夫、椎野佳世子
出席者 事務局	6名 金子教育長、橘川社会教育部長、春原スポーツ課長、蓑島主管、竹内主管、大沢田主事

### 1 委嘱状交付

### 2 金子教育長あいさつ

議題に入る前にスポーツ振興審議会の仕組みについて春原スポーツ課長より説明

続いて委員の改選があったため、委員の自己紹介及び事務局の紹介

#### <事務局>

平塚市スポーツ振興審議会規則第4条に規定する定足数は委員定数15名に対し、本日の出席者11名で過半数を超えているため、会議が成立することを事務局から報告する。

### 3 議題

#### (1) 会長・副会長の選任について

会長・副会長について、委員の互選で選任しようとしたところ、委員から事務局一任の声が上がる。

#### 【事務局】

会長については飯塚紀一委員、副会長については陶山正明委員を選任したいと思います。が、いかがでしょうか。

#### 【委員一同】

異議なし。

これにより会長に飯塚紀一委員、副会長に陶山正明委員が就任することが決定。

<飯塚会長 あいさつ>

<陶山副会長あいさつ>

(2) 平成22年度予算および社会体育関係行事予定について

**【事務局】**

資料「平成22年度スポーツ課予算」、「平成22年度社会体育関係行事予定表」に基づき概要を説明する。

**【議長】**

委員に質疑を求めるが、特になし。

(3) 市民総合体育大会について

**【事務局】**

資料「平塚市市民総合体育大会のあり方について 提言書 概要版」に基づき概要を説明する。

**【議長】**

先月の27日に私と陶山副会長で提言書を教育長、社会教育部長へ提出している。

また、私どもの方からお願いしたいのが提言書を提出してからの進捗状況の報告である。60回大会を開催するかどうか非常に危ぶまれている状況であるが、各種団体と1日も早く話し合いを持って、60回大会が開催できるよう努力していただけるとありがたい。

何回も委員の方に集まっていたいただき、真剣に討議して作成した提言書であるので、後で委員の皆様には読んでいただけるとありがたい。

委員のみなさんで質問がある方は質問をしていただきたい。

**【委員】**

提言書の内容の市民総合体育大会を実施していくためには、かなり早いペースでスポーツ団体へ説明をし、合意を求める必要がある。また、夏時分から来年度予算の検討も始まる。

これから色々大変な作業が待っているが、今後の事務予定について分かる範囲で結構なので、お教えいただきたい。

**【事務局】**

今現在、市の財政状況は非常に厳しい状況にある。

今ある市民総合体育大会の予算の範囲内で提言書に沿った形で60回市民総合体育大会を実施したいと考えている。

体育協会と体育振興会とどのように協議を行っていくべきか検討しているところである。いきなり新しい市民総合体育大会についての話を持って行ってしまうのはなかなか難しい。

ニュースポーツの大会についてもどのような競技を行えるか検討していくところである。

最終的には、予算編成を行う10月11月ぐらいまでには、形を作ってお示しできればと考えている。

予算の範囲でいかにできるかというところから考えていきたいと思う。

**【議長】**

60回大会はやるという理解でよいのか。

**【事務局】**

担当課としては開催する予定である。

**【議長】**

進行状況については、審議会にも逐次報告していただきたいので、よろしくお願いします。

**【委員】**

もう一点なんです、現場で選手集めをする体振の各地区会長への説明はいつごろになりそうか。

**【事務局】**

スポーツ課で考えているのは、夏の大会は現行の時期で行いたいと考える。また、ニュースポーツを行う秋の大会については、健康フェスティバルが行われていた時期で行いたいと考えている。内容はトリムバレー、パークゴルフ、ゲートボール、もう1～2種目のニュースポーツを1日で同時開催したいと考えている。

**【委員】**

夏の種目については、8月の市民総合体育大会が終わるころには御提示できそうか。というのも、来年の選手団の編成を今年市民総合体育大会が終わった時点で始める地区もある。

できれば、今年8月の市民総合体育大会を開催する時点でどの種目が競技種目なのかを教えてもらうことができるか。

**【事務局】**

提言書の中で、免許がいる競技等はある程度決まっている。ここで競技を特定することは差し控えるが、得点で不公平になる競技、たとえば個人で参加するような種目が得点種目になっているものもある。

各種目協会からの意見を聞き、さらにご理解をいただきながら、各種目協会と慎重に協議を行っていききたい。できるだけ早い段階で体育協会さんにもスポーツ課の案を提示していきたい。

**【委員】**

体協としては早めに仕分けをしていただきたい。

来年度に向けて各種目協会の予定もあるので、早めに決めていただきたい。

**【議長】**

ということですので、スケジュールをできるだけ委員の方にも知らせてあげて。現場サイドの方、体振の方が一番大会に関してはご協力いただいているので、選手集め、その他の部分もあろうかと思うがタイムスケジュールだけなるべく早めに。

今、各種団体との話し合いは持っているのか。

**【事務局】**

まだ、どういう風に話を団体へ持って行こうか検討しているところである。

**【委員】**

来年の大会まで時間が限られている。

来年新しい形式で行うことが決まっているのなら、スケジュールを立てていただくのと分かりやすい。

**【委員】**

市民のためのスポーツの祭典とうたっているのであれば、横の連携をしっかりと取って、中止となった健康フェスティバルを開会式で行うとよいのでは。もし、他のイベントと連携を取るのであれば、早く動かなくてはいけない。60回大会ということで本来であればゆっくりゆっくり考えていく必要がある。また、市民がどれだけ市民総合体育大会が大きく変わるということを知っているか。これからどのように知らせていかなければいけないかも検討する必要があるのでは。

**【議長】**

開会式、夏の大会、秋の大会、市内駅伝の開催時期等について、審議会へご報告いただけると助かる。

**【事務局】**

できる限り、報告するようにする。

**【議長】**

スケジュールを前倒し、前倒しでご提案いただきたい。そうすれば問題の解決につながる。

**【委員】**

来年度の市総体開催が危ぶまれるという話を聞いて驚いたが、開催に向けて前向きに取り組むということによろしいか。

**【議長】**

先ほどお話があったように、予算そのほかも含めて来年度の開催に向けて、いろ

いろな問題について委員会の中で検討している。

**【委員】**

競技によっては、シニア枠を設けてもよいのではないか。

**【議長】**

今まで、競技スポーツ志向であったが、来年度大会から市民みんなが参加できる生涯スポーツに変えようと意見を出し合った。

地区レクを大きくしたような大会にしていかないと意味がないのではないかと委員会で意見が上がった。

それをまとめたのが、この提言書である。

読んでいただくとその内容がよく分かると思う。

**【委員】**

スポーツを衰退させることはよくないと思う。

**【議長】**

スポーツをするだけでなく、観るスポーツを取り入れる中で、東海大学、神奈川大学、湘南ベルマーレ、湘南シーレックスといった平塚市で活動するアスリートの方々に開会式に参加してもらう機会を設け、子供たちにスポーツを教えるということも審議会の中で真剣に考えていただいた。

市民総合体育大会については、中止せず行こうという方向で考えている。

中止にするということはありません。

提言書どおりに来年度の市民総合体育大会が行われるかといった点を委員の皆さんは心配されているので、事務局の方からスケジュールを出してもらいたい。

**【委員】**

市民総合体育大会の仕組みを変えたことに関する評価項目をどのように考えるのか。

評価項目、例えば市民の意識が変わったかどうかなど、についてはどうお考えか。

また、参加者からの評価の聞き取りを行う予定はあるのか。

**【議長】**

今までは市民総合体育大会の評価を特に行っていなかった。

ただ、昭和27年から同じ形で行われた市民総合体育大会をどのように変えたらよいかという気持ちを持って提言書の作成を行った。

各種団体からの意見を聞きながら、来年度大会の実施を検討していきたい。

**【委員】**

よりよい市民総合体育大会開催のために、常に評価をしていく必要がある時代になってきている。

そのような評価を通して、スポーツ振興ができるような動きに持っていった方がいい。

**【委員】**

健康フェスティバルは予算がなくなったから、行われなくなったと聞いた。

あのような素晴らしいイベントがなくなったのは残念。

福祉村で行っている障がい者のための運動会は実施すると聞いている。

障がい者を含めて市民スポーツの祭典を行うためには、縦割り行政で行うのではなく、横との連携を取る必要がある。

連携が取れなければ、せっかくの市民のための祭典が意味のないものになってしまう恐れがある。

**【議長】**

開会式の後に健康フェスティバルに類似するようなイベントができればいい。

そのような点も提言していく必要があるかも知れないが、事務局の方でも今後検討していただきたい。

**【委員】**

地区でも市総体に関する疑問がいろいろ出てきている。

今日の審議会の中で出た話は地区に下ろしてもよいのか。

**【議長】**

下ろすことに関しては問題ない。

**【委員】**

平塚市体育振興連絡協議会の会議でも逐次地区体育振興会に下ろしている。

**【議長】**

種目については検討していかなくてはいけない点があり、得点競技については不公平な部分が出てきている。

その不公平な部分を解消しようと、全地区の70%以上参加している種目のみ得点競技にしようと考えている。

人口に差がある地区同士が同じ得点競技で競い合わなくてはいけないのが現状。

地区で市民総合体育大会について検討している内容をお話いただくのは構わないが、各種目がどうなるかということについて話すと、不協和音が生じるおそれがあるので、話さないでいただきたい。

**(4) 第59回市民総合体育大会の視察について**

**【事務局】**

資料「市民総合体育大会視察予定」に基づき、概要を説明。

**【議長】**

マイクロバスの分の予算がないが、視察の足はどうするのか。

**【事務局】**

市役所のマイクロバスを今年から使用する。

万が一バスが使用できない場合は、タクシーの借り上げで対応する。

(5) その他

**【事務局】**

パークゴルフ場の建設状況について概要を説明。

**【委員】**

私の生徒が市民総合体育大会について卒業論文を作成するために、アンケートを参加者から取りたいと考えている。

当日アンケートの回答を求めても問題ないか。

**【議長】**

問題ないのでは。

**【事務局】**

参加者が納得した上で回答するのなら問題ないのでは。

**【委員】**

参加者にアンケートの実施について周知しておく必要があるのでは。

**【事務局】**

体振の会議等で周知する。

4 閉会

社会教育部長あいさつ